

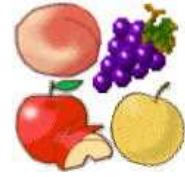


## 平成28年度 果樹情報 第20号

(平成29年3月23日)

果樹類の発芽予測

福島県農林水産部農業振興課



### 1 気象概況 (3月中旬：果樹研究所)

平均気温は3半旬が3.2℃で平年より1.5℃低く、4半旬が6.4℃で0.8℃高く経過しました。この期間の降水量は22.5mmで平年の94%でした。

### 2 発芽予測 (果樹研究所における3月21日時点での予測)

今後の気温が平年並に経過した場合、もも「あかつき」の発芽は3月26日頃、なし「幸水」の発芽は4月3日頃とともに平年より1日遅く、りんご「ふじ」の発芽は3月27日頃で平年より1日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意してください。

表1 発芽予測日 [予測方法：発育速度 (DVR) モデルによる発育予測]

	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い
あかつき	3月19日	3月25日	3月26日	3月25日	3月27日
幸水	3月28日	4月2日	4月3日	3月31日	4月6日
ふじ	3月21日	3月28日	3月27日	3月25日	3月29日

注) 発芽日の平年は1986～2015年の平均値。

気象庁[営農活動に役立つ気象情報]

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

### 3 栽培上の留意点

#### (1) 管理作業の計画的実施

発芽予測日や気象予報を考慮し、ももの摘らい、せん定枝処理、誘引及び休眠期防除などの管理作業が遅れないよう計画的に実施しましょう。

#### (2) ももの摘らい

摘らい作業の適期は3月上旬から発芽直前までで、発芽期以降は摘らいの際に葉芽を傷めやすい上に花らいが離脱しにくくなり、能率が極端に低下します。摘らい作業は時間を要するので計画的に実施しましょう。

なお、摘らい作業の省力化を目的として、高圧動力噴霧機と摘らい用ノズルによる水圧摘らいを実施する場合は、果面障害の発生を最小限に抑えるため、発芽期前後または開花直前～開花期頃を実施しましょう(発芽後5～15日(開花前6～17日)頃は果面障害が発生しやすいので注意してください)。

### 4 病虫害防除上の留意点

発芽前の防除は時期が遅れないように注意し、温暖無風の日を選んで確実に実施しましょう。

#### (1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除を徹底するとともに、発病部は削り取るかせん除しましょう。

輪紋病の発生が多い園等で枝幹にいぼ病斑がみられる場合は防除部を削り取りましょう。

うどんこ病によるボケ芽等はせん定時に除去し、第一次伝染源の密度低下を図りましょう。

リンゴハダニの越冬卵量が多い園では、休眠期の防除を実施しましょう。

(2) もも

休眠期防除は発芽前（りん片のゆるむ頃まで）に実施しましょう。

ハマキムシ類の発生が多い場合には、発芽期から開花期前後に防除を実施しましょう。なお、有機リン剤等の訪花昆虫に影響がある剤を使用する場合は散布時期に注意しましょう。

(3) なし

黒星病および越冬病害虫に対しては、発芽10日前までに石灰硫黄合剤 10倍を散布しましょう。ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い場合は、石灰硫黄合剤にかえて機械油乳剤95 25倍またはスプレーオイル 30倍またはハーベストオイル 50倍を使用しましょう。ただし、樹勢が低下した樹には使用しないようにしましょう。

(4) ぶどう

晩腐病防除のため、休眠期の防除を徹底するとともに、病原菌が越冬している可能性が高い巻きひげや前年の房の取り残し、結果母枝の枯死部は丁寧に除去しましょう。

ハダニ類の発生がみられる場合は、発芽前に石灰硫黄合剤 20倍を散布しましょう。

5 注意喚起情報

病害虫防除所から、2つの注意喚起情報が出されています。詳しくは下記の病害虫防除所ホームページを参照ください。

(1) りんご黒星病のDMI剤耐性菌に関する情報

青森県でりんご黒星病の重要防除剤であるDMI剤耐性菌が確認されました。本県では未確認ですが、りんごの穂木、苗木等を導入する際は十分注意してください。

(2) クビアカツヤカミキリに関する情報

本県未確認の外来種ですが、サクラや果樹類を加害するため、被害拡大が懸念されています。

**病害虫の発生予察情報・防除情報**

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>